

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 1 月 27 日 (2011.1.27)

【公開番号】特開 2009-145748 (P2009-145748A)

【公開日】平成 21 年 7 月 2 日 (2009.7.2)

【年通号数】公開・登録公報 2009-026

【出願番号】特願 2007-324746 (P2007-324746)

【国際特許分類】

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 21/00 3 8 8

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 29/38 D

【手続補正書】

【提出日】平成 22 年 12 月 2 日 (2010.12.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

交流電源から駆動負荷へ電力を供給する第一の電源と、
前記交流電源から制御手段に電力を供給する前記第二の電源と、
前記第一の電源の電力供給の可否を切り替えるスイッチ手段と、
前記交流電源からの交流電圧のゼロクロスのタイミングを示す信号を検出するゼロクロス検出手段と、

前記第二の電源から電力が供給されることによって動作し、データを記憶する不揮発メモリと、を備え、

前記制御手段は、前記ゼロクロス検出手段でゼロクロスのタイミングを示す信号が検出されない場合には、前記スイッチ手段をオフ状態として前記第一の電源から前記駆動負荷への電力供給を遮断するとともに、前記不揮発メモリに前記データを記憶させることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の画像形成装置において、

前記ゼロクロスのタイミングを示す信号が検出されない場合とは、前記信号が所定時間以上検出されない場合であることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の画像形成装置において、

前記ゼロクロスのタイミングを示す信号が検出されない場合とは、前記検出手段で前記信号が連続して所定回数検出されない場合であることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 4】

請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置において、

前記不揮発メモリに記憶する前記データは、前記スイッチ手段をオフ状態として前記第一の電源の電力供給を遮断するまでの、前記画像形成装置の使用履歴データであることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 5】

請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置において、

前記不揮発メモリに記憶する前記データは、前記スイッチ手段をオフ状態としたことを示すデータであることを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(1) 交流電源から駆動負荷へ電力を供給する第一の電源と、

前記交流電源から制御手段に電力を供給する前記第二の電源と、

前記第一の電源の電力供給の可否を切り替えるスイッチ手段と、

前記交流電源からの交流電圧のゼロクロスのタイミングを示す信号を検出するゼロクロス検出手段と、

前記第二の電源から電力が供給されることによって動作し、データを記憶する不揮発メモリと、を備え、

前記制御手段は、前記ゼロクロス検出手段でゼロクロスのタイミングを示す信号が検出されない場合には、前記スイッチ手段をオフ状態として前記第一の電源から前記駆動負荷への電力供給を遮断するとともに、前記不揮発メモリに前記データを記憶させることを特徴とする画像形成装置。